

「いいだ未来デザイン2028」の中期計画3年目へ向けて
～令和4年度「議会による行政評価」からの評価及び提言書～
への対応状況

長野県飯田市

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
1	・6次産業化について、生産者ニーズや市場ニーズを把握し積極的に取り組まれない。	・6次産業化による他産業と連携した高付加価値化は、農家所得の向上と農業の新たな魅力の創出が図られ、担い手確保にも通じる重要な取組です。 ・県が事務局を担う信州6次産業化推進協議会と連携するとともに、飯田商工会議所・JAみなみ信州と連携し未利用資源の活用をはじめとした仕組みづくりを検討していきます。 ・農業法人等の6次産業化に向けた機械導入や施設整備等に対する、信州農業6次産業化推進事業補助金等による取組への支援も進めます。	1-① 地域産業の育成による高付加価値化 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
2	・6次産業化で付加価値を高めるには、地域資源の活用によるデザイン力の向上が課題である。	・地域資源を活用した商品開発・販売までの取組の支援として、魅力ある商品づくりのためのデザイン力の向上の支援は、製造業だけでなく農業における高付加価値化にとっても必要な観点と考えます。 ・このためには、農業と地域内の他分野の企業が連携することが重要です。 ・この一例として、市田柿の観測システムの開発があります。市田柿を高品質かつ安定的に生産し高付加価値を維持するために、硫黄燻蒸にも耐えうる観測システムを地域内企業4者連携で開発しています。こうした地域課題を地域資源の活用により解決しようとする取組を今後も探求していきます。	1-① 地域産業の育成による高付加価値化 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
3	・ISO/IEC17025(試験所認定)の認定取得に伴う更なる信頼性の向上と試験要員の強化及び持続可能な体制強化に努められたい。	・ISO/IEC17025試験所認定を取得したことを広く周知し、認定試験を積極的に受託することにより試験所としての信頼性の向上を図ります。また、新たに試験要員も含めた人材育成システムを構築し、試験所の安定的な運用体制を目指します。	1-① 地域産業の育成による高付加価値化 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
4	・「南信州地産地消協議会」を中心とした、効果的な取り組みの推進にあたり、事業者と市民(消費者マインド)へのアプローチに引き続き取り組まれない。	・「南信州地産地消推進協議会」とは引き続き積極的に連携、支援してまいります。協議会では、生産者実需者交流会、ケーブルテレビ等を活用した地産地消番組、地産地消料理コンテスト等の啓発活動を様々に展開しており、消費者・実需者の消費マインドへの働きかけを、行政、南信州観光公社、JAみなみ信州をはじめ関係者の連携により取り組んでいます。	1-② 地域経済循環の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
5	・「まちの八百屋システム」の今後の成果に期待したい。	・南信州地産地消推進協議会が構築を進めている「まちの八百屋システム」は、3宿泊施設とJA直売所を結ぶ取組から始め、デジタルシステム化の検討段階に入ってきています。システムは、全国展開を図っている既存のシステムを当地域ならではの運用で活用する仕組みを試行していきます。運用する中で、更なる課題や普及に向けて研究を進めていきます。	1-② 地域経済循環の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
6	・事業承継は、今後益々大きな課題になることから、しっかりと寄り添っていかれたい。	・経営者の高齢化、コロナ禍や原材料高、消費税の影響など、地域事業者の皆さんを取り巻く環境は厳しい状況が続いています。長野県事業承継・引継ぎ支援センター、飯田商工会議所等と連携して、しっかりと寄り添っていけるように努めていきます。	1ー③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
7	・事業承継に対する事業者の意識調査を詳細に分析し、対策を検討されたい。	・今年度において関係機関とともに事業承継のアンケート調査を実施しました。今後は来年度にかけて、アンケート調査の分析、対策の類型化を行いながら、長野県、飯田商工会議所、飯田市の3者連携による相談対応やセミナー等により、具体的な支援を進めていきます。	1ー③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
8	・事業承継に対する、事業者への専門的支援体制の強化を図られたい。	・総合的相談対応を行う専門家、事業者の課題に具体的に対応する専門家(資産査定、法務、税・会計ほか)が想定されますが、長野県事業承継・引継ぎ支援センターとも連携しながら、地域内外の専門的な支援体制を強化し、さらに対応を進めていきます。	1ー③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
9	・事業承継問題と起業家をつなげる取り組みを展開されたい。	・M&Aによる承継では、起業家あるいは新規事業展開等を意図する事業者への実質的な引継も見られます。事業承継の情報は取扱に留意が必要で、個人保証など債務の引継問題など、オープンに進めることは難しい状況もありますが、事業者のケースを踏まえる中で、起業家へつなげることができる案件については、手法を協議して対応を進めていきます。	1ー③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・農村起業家育成スクールとの情報共有・協業は相乗効果を期待できることから、連携して取り組まれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村起業家スクール受講生のビジネスモデルを、チャレンジ起業相談室により具体化に向け支援するなど、中山間地域における豊富な農村資源の活用と関係人口構築などといったコミュニティビジネスの起業支援も連携して行い、起業後の伴走支援も含め事業の成長を連携してサポートしていきます。 	1ー③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
11	<ul style="list-style-type: none"> ・分野間の情報を共有し、引き続き分野間連携を図られたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野間連携の取組みとして、本年度においてはネスクイダの会員企業数社が手を結び、市田柿の遠隔監視システムの開発を進めており、飯田市農業課やJAみなみ信州などとも連携しつつ、地域産業の課題解決を目指す取組を行っています。 ・引き続き地域内経済循環を促進するためにも、分野間の連携による取組を支援していきます。 	1ー③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
12	<ul style="list-style-type: none"> ・エス・バード(信州大学航空機システム共同研究講座)で学び、学位を取得した若者が飯田下伊那との繋がりが保てると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学航空機システム共同研究講座は開講以来令和3年度までに15名の修士取得者を輩出しており、令和3年度からは分野横断ユニット化されたことから多くの学生が南信州飯田キャンパスで学ぶ状況となっています。 ・令和4年度には、この地域の航空機産業に携わる企業を見学していただくなど、この地域についての理解を深めていただくよう取り組んでおり、飯田市で学んでいる間に、この地域の事について理解を深めていただけるよう引き続き取り組んでいきます。 	1ー④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
13	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファブスタ★」では、今後のものづくりに活かせる学習ができることから、学校への売り込みなど参加者拡大を図り、大いに活用されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファブスタ★開設以降、エス・バードを見学いただく子どもたちに体験の場として活用していただくなど、積極的にご利用いただくよう努めています。今後はファブスタ★での体験学習に加えて、機器を活用した出前授業なども展開し、次世代の担い手子どもたちにもものづくりの楽しさを体験していただける機会をより一層増やしていきます。 	1ー④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
14	<p>・長寿命化の時代に入り、特に建築・土木関係の技術・技能者の確保・育成が急務であることから、雇用対策事業のつなぐ事業において当該事業者への集中的アプローチの実施や、技能者育成支援事業を戦略計画に紐づけし拡充する等、実効性のある施策を早急に講じられたい。</p>	<p>・高校と連携した就業体験やインターンシップ的な事業など進めていますが、今年度は独自に取り組む飯田OIDE長姫高校のほか、市内建設事業者の協力により、阿南高校生による建設現場での職場体験を実施しました。参加した学生からは、「効率よく仕事をこなしている姿にプロ意識を感じた」等の感想も寄せられています。</p> <p>・建築・土木関係事業者における人材不足、高齢化の状況については、職業安定協会と連携したガイダンスや事業者紹介、各高校、関係機関、事業者と連携した職業学習等の機会の提供に努めていきます。</p> <p>・技術者、技能者の育成においては、関係機関や各事業者の独自の取組も踏まえながら、国県の支援制度の有効活用も含め、取組をさらに進めていきます。</p>	<p>1-④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023</p>
15	<p>・エスバード関連事業(共同研究講座含む)には多くの財源確保が必要であることから、将来的に安定した資金調達が図られるための仕組み作りを研究されたい。</p>	<p>・開講6年を経過する信州大学航空機システム共同研究講座及び令和5年度に開校する信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座は、運営費用の確保に企業版ふるさと納税を活用し、多くの企業の皆様のご協力で運営費の確保に取り組んでいます。また試験研究所の試験要員の確保に地方創生推進交付金を活用するなど財源の確保に努め、関連事業の利用増加に取り組みながら必要に応じた受益者負担で健全な運営を目指していきます。</p>	<p>1-① 地域産業の育成による高付加価値化 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023</p>
16	<p>・農林業従事者の高齢化への抜本的な対策に引き続き取り組まれたい。</p>	<p>・農業従事者の高齢化対策としては、省力化対策と事業承継が重要と考えます。</p> <p>・農作業の中でも過酷な草刈り作業の軽減化に向けて、各種草刈り機の貸し出しを行っているほか、作業代行の情報提供、農機具・施設のあげます情報の提供により、省力化を図ります。</p> <p>・事業承継については、親元就農の経営安定に向けて補助金により支援するとともに、農地の遊休化を防ぐために、人・農地プランの実質化、農地バンク、新規就農者支援に引き続き取り組んでいきます。</p>	<p>1-④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保 1-⑤ 地域に根差した農林業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023</p>
17	<p>・森林所有者の自らが、自らの山を管理することが基本となることから、管理や自伐材の活用を促す取り組みを検討されたい。</p>	<p>・木こり養成塾を通じ、自伐材の活用や所有林を自ら整備、活用できる人材の育成を図ります。</p> <p>・地域が主体的に行う竹林、里山整備活動に対して支援を行います。</p>	<p>1-⑤ 地域に根差した農林業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023 飯田市森林整備計画</p>

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
18	・林業の今後の方向性について、具体的な取り組みを早期に検討されたい。	・令和4年度において、飯田市森林整備計画の策定に向けて内容の検討を行っています。策定する飯田市森林整備計画は、林業関連施策の方向、森林施業の規範を定めるマスタープランとなる計画で、計画期間は、令和5年4月から10年間です。 ・計画の策定にあたっては、目指す森林の姿と実現するための林業の今後の方向性を位置づけるものとしております。	1-⑤ 地域に根差した農林業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023 飯田市森林整備計画
19	・特産の市田柿は、生産者の品質維持向上の取り組み、国内消費、新商品開発の検討が重要であることから、引き続きしっかり取り組まれない。	・市田柿の振興については、市田柿ブランド推進協議会において全体的な振興に取り組むとともに、市田柿商標・GI管理委員会において、GIの管理をはじめ品質管理に取り組んでいます。さらに、輸出促進に向けて市田柿海外輸出推進プロジェクトで取り組む等、国内外でのブランドの浸透を図っています。 ・特に若い女性への認知度向上のために、全国・世界展開している料理教室と連携しており、新メニュー開発、会員によるSNS発信など効果的なPRがされています。	1-⑤ 地域に根差した農林業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
20	・農業者向けの各種補助事業について、今年度作成したガイドを使い、兼業農家や農機具販売店(間接的に農業に関わる事業者等)にまで情報提供を行う等、実効性のある活用促進を図られたい。	・飯田市、飯田市農業振興センターの農業者向け補助金のガイドブックは、毎年最新版に更新して発行する予定です。今後は単に補助金の案内だけでなく、農機具・施設のあげます情報や作業代行情報など、広く農業に関わる情報を掲載し、農家の皆さんが必要に応じて利用できるガイドブックとしていきたいと考えています。	1-⑤ 地域に根差した農林業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
21	・農機具・施設のあげます情報(農業振興センター事業)は更なる活用が期待されるが、現在のサイトは検索しにくいことから利用度向上は期待できないため、飯田市地域情報アプリに掲載する等アクセスしやすく改善し、認知度向上や利便性向上に取り組まれない。また、今後の展開として飯田市のみならず周辺町村の情報も掲載・マッチングできるよう広域連合での展開を視野に進められたい。	・農機具・施設あげます情報は大変好評をいただいています。見づらかった農業振興センターのホームページのサイトもリニューアルしました。あげます情報の仕組みは運用する中で改善を図っていますが、旺盛な需要に比べて供給できる情報が少ない点が課題となっていますので、様々な機会を通じて登録数の増加を図ります。そうした中で、広域連携も含め、今後の展開について検討していきます。	1-⑤ 地域に根差した農林業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
22	・飯田に住んでいる人が来訪者に対して胸を張って「飯田にはこんな見どころがある」と言えるようになるため、また、リニア開業を見据え、リニア駅から南信州の魅力あるスポットへいざなうための周遊観光プランとして「南信州ふるさと再発見の旅(マイクロツーリズム)」の企画の幅を広げていくこと(ストックづくり)が更に求められる。	・南信州ふるさと再発見の旅は、南信州観光公社と市町村が連携し、歴史・文化・自然など多様な資源を組み合わせ、広域観光商品として造成販売する事業を市として支援しています。令和5年1月からはこれまでのストックを活かした「南信州こだわりの旅」として広く募集を再開しています。 ・引き続き、地域資源の掘り起こしと磨き上げから新たなツアーの造成により、南信州の魅力発信とともに観光誘客に取り組んでいきます。	1-⑥ アフターコロナの観光産業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
23	<p>・飯田の魅力を発信する商品開発や、「旅の目的地」につながるプロモーションを南信州観光公社と一体となって取り組まされたい。また、効果の検証(持続性含め)は飯田市がしっかりとチェックされたい。</p>	<p>・個人旅行化とアウトドア型観光形態、自然回帰型観光への観光需要の変化への対応として、信濃路自然歩道や風越山展望台などの整備を進めるとともに、情報発信や旅行会社を通じた誘客に取り組みます。</p> <p>・令和4年は元善光寺のご開帳を機会として、ラジオ番組の枠放送、観光情報誌や新聞などへのメディア戦略を実施しました。引き続き株式会社南信州観光公社と連携してメディアの活用や旅行エージェントへのプロモーションを行ってまいります。</p> <p>・これらの事業のほか南信州観光公社と連携して実施した事業は、ツアーの催行回数、参加人数等の実績を報告いただいております、これらを評価することでより効果的な取組につながるよう努めてまいります。</p>	<p>1-⑥ アフターコロナの観光産業の推進 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023</p>
24	<p>・三遠南信自動車道全通やコロナ収束後を見据え、天龍峡・遠山郷の地域振興にむけた新たな動きを引き続き支援されたい。</p>	<p>・そらさんぽ天龍峡、ご湯つくり、よって館天龍峡など、主要なハード整備が進められてきた天龍峡は、今後はそれらを活用し、観光客の滞在時間の延長による観光消費額の増加につながる魅力づくりが必要です。観光協会等とともに、りゅうのまーけっと、ナイトミュージアムの実行委員有志といった地域の若手や、天龍峡に魅力を感じ集まってくれる都会の若者などによる様々な魅力づくりへ支援してまいります。</p> <p>・遠山郷においては、信州の南の玄関口としての拠点施設である道の駅遠山郷の再整備に向けて、地域を中心とした新たな経営体の設立を支援するとともに、道の駅の新たな機能や施設のあり方について、その方向性・考え方を早急に示してまいります。</p>	
25	<p>・飯田市としてできることを一つひとつ実施されたい。</p>	<p>・各事業者の具体的な取組の広がりや、全体として働きやすい職場が多い地域となることから、具体的に各事業者の「働き方改革」を進めるため、各事業者の人事担当者向けの働き方改革セミナーを11月に実施し、全3回の講座に20社以上の参加をいただきました。</p> <p>・イイダカイヤナビ、飯田職業安定協会(会員約240社)をプラットフォームとして、具体的に「いい人材」に長く働いてもらうため、各事業者の取組を支援していく今回の事業をはじめとして、今後さらに取り組んでまいります。</p>	<p>1-④ 地域産業を支える担い手の育成確保 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023</p>
26	<p>・「イイダカイヤナビ」のYouTube 動画の視聴回数がまだまだ少ないことから、視聴してもらうための仕掛けを検討する必要がある。</p>	<p>・十数年ぶりに全面リニューアルしたイイダカイヤナビでは、「この地で暮らし、働こう」という明確なメッセージを掲げるとともに、動画など現在の就職活動事情等を踏まえたサイトの強化を実施しました。Web企業説明会の動画については、毎年3月に更新してまいります、高校での職業学習における活用や大学生、転職による転入希望者などにも活用いただけるようにPRをさらに進めてまいります。</p> <p>・また、学生やその親世代の「飯田下伊那の企業を選択肢として考えていない」皆さんも含め、伝えたい側(事業者)の一方的な情報発信でなく、対象となる世代やその親等に届く動画を研究し、飯田下伊那の企業群の魅力をさらに伝えていきたいと考えています。</p>	<p>1-④ 地域産業を支える担い手の育成確保 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023</p>

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
27	・できあがった枠組みを、今後しっかりと取り組まれない。	・インターンシップやワークライフバランスに関する情報など、就活者にとって必要な情報をイダカイシャナビにまとめることで、「当地の就職の総合窓口サイト」としてしっかりと位置づけていけるよう、利便性を高める取組をさらに推進していきます。	1-④ 地域産業を支える担い手の育成確保 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
28	・企業誘致とノウハウが異なるサテライトオフィス誘致に、効果的なPRを行うなど全力をあげて取り組まれない。	・オフィス誘致に関しては、ホームページの充実、総務省のマッチングイベント、県のおためしチャレンジナガノへの参加等のPR活動に取り組んでいますが、リニア開業を見据え、今後、県との情報共有・連携強化を図りつつ、積極的な誘致活動に取り組んでいきます。	1-⑦ 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
29	・産業団地の整備については、戦略的・政策的な観点から好適地(三遠南信自動車道沿線を始め企業・飯田市双方にとって有益性の高い候補地)を選定し、リニア発生土の活用も考慮しながら、よりスピードを上げて進められたい。	・リニア発生土を活用した、龍江インター産業団地は令和4年度末に完成予定で、今後、企業の誘致活動を行います。また、山本インター付近にリニア発生土を活用した新たな産業団地整備を検討していきます。	1-⑦ 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023
30	・コロナ禍においても、企業誘致、サテライトオフィス誘致は足を運んでPRをしっかりと取り組まれない。	・企業誘致に関しては、ホームページの充実、新聞広告等の広報活動の他、企業訪問、Web打合せ等を行いながら、効果的な誘致活動に取り組んでいます。	1-⑦ 【分野別計画】 地域経済活性化プログラム2023

基本目標2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
1	・「子育て環境」と「いいだ型自然保育」は飯田ブランド(強み)の一つであり、子育て世代に向けたプロモーション活動の中でぜひ取り上げられたい。	・「子育て環境」と「いいだ型自然保育」は、当地域の強みの一つとしてプロモーション戦略には欠かせないテーマであり、提言後、iidabrand.com(旧IIDA2027)に新たに「いいだやまほいく」を加えて、動画等を掲載しました。また、本年度制作したプロモーションブック「飯田PRESENTS」や首都圏への書店プロモーションでも取り上げており、今後のプロモーション活動においても継続してPRを行っていきます。	2-① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
2	・コロナ禍でもできる取り組みとして、飯田の概要を理解してもらうための飯田市全般を紹介できる動画を作成し、情報発信に活用されたい。	・令和4年度から動画による情報発信に力を入れており、飯田焼肉や天龍峡DIYの活動等を新たに制作し情報発信に取り組んでいます。飯田市全般を紹介する動画について、本提言も含め外部や市内からも要望があることから、市民・事業者参加による動画コンテストを開催するなど、情報発信を強化していきます。	2-① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
3	・西条市が取り組んでいる視点である「強みをどうやって、誰に伝えるか」を、飯田市として明確になっているか検証されたい。	・西条市の取組は移住定住施策において、市の特徴を移住を考えている方々に丁寧にお伝えしていくことと認識しています。 ・飯田市も、移住を希望する皆さん一人一人に寄り添って、持ち味の多様性も含めて有益な情報を伝えられるように、移住コンシェルジュの皆さんと取り組んでおります。なお、宝島社出版の「田舎暮らしの本」の「住みたい田舎ベストランキング2023」特集で、当市が人口5万人以上10万人未満のまち部門総合1位に選ばれました。	2-① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
4	・「VisitIIDA.com」のサイトは、少しのコメントと写真しかないため、動画を追加するなど普段から関心を寄せてもらえるように内容の更新を図られたい。また、お練りまつりなど時期のあるものは写真の更新をこまめに行われたい。(8/4 現在「お練りまつり2016 ふりかえり」として掲載されている)	・「VisitIIDA.com」のサイトは、写真と360度VR画像で構成されていますが、ご提言のとおり、写真の更新、市で制作した動画を追加いたしました。今後、新たに制作する動画の追加や、定期的な更新に努めます。	2-① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
5	・「焼き肉のまち」をブランドとして取り組むにあたり、飯田以外の人向けに飯田焼き肉の特徴、昼・夜それぞれの開店情報などを紹介できる工夫が必要である。	・南信州畜産物ブランド推進協議会のウェブサイトや、民間で立ち上げた情報発信拠点でも飯田焼肉の特徴や歴史、焼肉や精肉店を紹介するなど「日本一の焼肉の街」をPRしています。飯田焼肉の特徴や焼肉店の情報などを紹介するパンフレットが欲しいという声をいただいており、精肉店や焼肉店の協力を得ながら、関連部署と連携し、パンフレットを制作します。	2-① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
6	・焼き肉イベントなどを開催するための大規模な屋根付き広場も必要ではないか。	・現時点の焼肉文化の発信の取組では、1か所に集まる大きなイベントではなく、焼肉店や精肉店を利用してもらえるような取り組みを中心に行っているため、屋根付き広場については具体的な検討に至っていません。リニア時代を見据えた交流・関係人口の拡大に向けて、リニア駅前広場の活用を含めて関連部署と連携して検討をしていきます。	2-① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
7	・「中心市街地の賑わい」「日常的なまちの賑わい」を創出するためには、外から丘の上に来てもらう視点も大切だが、持続可能な中心市街地に向けて『歳を取れば丘の上(まち)に住みたい』と言われるまちづくり「車に依存しない歩いて事足りるまちづくり」という居住に再度視点を向けることが必要ではないか。そのためにも居住者の実態(実数、高齢化率、ニーズ等)はどうなっているのか調査されたい。	・第3期中心市街地活性化基本計画の目標の1つに「丘のまちの快適な暮らしの創造」を掲げ、現在各事業に取り組んでいるところですが、中心市街地の人口は年々減少し高齢化も進んでいる状況です。また、コロナによる影響やリニア中央新幹線開通・大学誘致など、社会環境も第3期中活計画策定時から大きく変化してきています。そのため、令和5年度に改めて居住者の実態(実数、高齢化率、ニーズ等)を調査するとともに、新たな課題や契機に沿った対応策等も検討し取り組んでいきます。	2-② 中心市街地の賑わいのある街づくり 【分野別計画】 第3期飯田市中心市街地活性化基本計画

基本目標2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
8	<p>・中心市街地の賑わいのある街づくりにむけて、新たな起点となる丘の上結いスクエアをいかにして若者世代の核として活かしていくかが今後の課題と考える。</p>	<p>・丘の上結いスクエアは、中心市街地唯一の駅前大型商業施設が閉店したことにより、駅前空間に大規模施設が閉ざされたままになっていることへの危機感、商業施設に対する地域からの要望や学生の憩いの場の設置に応えたいという飯田駅前プラザ株式会社の地域貢献の視点への思いを受けて、市としても第3期中心市街地活性化基本計画に位置付け、まちの賑わい再生に向けて事業を支援いたしました。特に公共空間である2、3階の「ムスぶらざ」では、若者をはじめ、性別、年齢、国籍を問わず、市民の皆さんが取り組むムスの理念に基づいた活動が行われており、創発の場としてこれまでと異なる使われ方がなされています。賑わいのある街づくりには若者の活動は必須と考えていますので、引き続き若者が活躍する場の創出に取り組んでいきます。</p>	<p>2-② 中心市街地の賑わいのある街づくり 【分野別計画】 第3期飯田市中心市街活性化基本計画</p>
9	<p>・「まちなか回遊」による賑わいのある街づくりを進めるために、世代別に受け入れられる「ストーリー性」の確立と、昼と夜の誘客層の違いに視点を当てた回遊のあり方を検討されたい。</p>	<p>・中心市街地の取組の多くは市民主体の実行委員会体制で運営しており、りんご並木の歩行者天国や各種イベントを通じて、まちの賑わいづくり創出に努めています。現在は、子どもを連れた家族を中心に幅広い世代の交流人口拡大に取り組んでいます。一方で、飯田丘のまちバルのような、夜間でも回遊できるイベントを実施することで世代や時間帯の異なる誘客層へもアプローチしているところですが、コロナ禍でのイベント自粛等により、交流人口も大幅に減少している状況です。アフターコロナを見据えた施策として、まちの賑わいをとり戻す取組をご提言いただきました内容も含めて実行委員会とともに検討していきます。</p>	<p>2-② 中心市街地の賑わいのある街づくり 【分野別計画】 第3期飯田市中心市街活性化基本計画</p>
10	<p>・移住希望者のニーズは住居、周囲との人間関係、子育て・教育環境、福利厚生、雇用、老後、農地の有無を始めとして幅広いことから、市民・地域・企業・行政が一体となった「オール飯田市」で推進していく取り組みに進化させ、しっかりと寄り添った丁寧な対応に引き続き務められたい。</p>	<p>・移住定住推進の取組は、地域の活力の維持・向上に向けて、移住者の受け皿となる地域や住民の皆さん、地元企業、関係機関等と共に、地域ぐるみで取り組んでいくことが重要だと考えています。職業紹介、仕事・暮らしの体験、子育て支援、空き家の紹介など、多様な立場の皆さんとの連携・協働により、移住定住推進への気運を高め、全市民的な取組として進めてまいります。また、移住希望者一人一人とのご縁を大切に、引き続き懇切丁寧な対応に尽力していきます。</p>	<p>2-③ 「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進</p>
11	<p>・進捗状況確認指標「⑤新規大学等卒業者の地域内就職率」が25%に達しない点と、飯田高校自治会(生徒会)が実施したアンケート結果が、進学後の帰郷希望は28%、他地域への移住希望が33%となり、指標を裏付ける結果となった。アンケートの集計内容を入力し、帰郷希望が向上しない要因を様々な角度から分析し対応していくことが必要である。</p>	<p>・飯田高校をはじめ「進学者の多い高校」への対応においては、進学先の専門性と当地の産業構造、高校生の将来の夢と就職先が十分に合わない状況等の課題もあると認識しております。 ・飯田高校のアンケートをはじめ様々な角度から分析を行いながら、関係課、関係機関と連携して対応を進めていきます。</p>	<p>2-③ 「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進</p>

基本目標5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
1	・人形劇センター、AVIAMA、人形浄瑠璃団体など通年で活動し観劇、体験等の機会は提供されているが、まだ人形劇のまちづくり＝フェスタの印象を持たれることがある。通年活動の周知に努められたい。	・人形劇の公演事業及び創造事業など、フェスタ以外でも年間を通した取組を行い、コロナ禍でも延べ4,000人を超える参加者がありました。SNSやウェブサイト、地元ラジオ等を利用した活動の周知を行っています。人形劇の魅力をまだ知らない人には情報が届きにくいいため、様々な媒体の活用や公民館活動との連携等を通じて、より広い市民を対象にした情報提供、周知に努めます。	5-①「人形劇のまちづくり」の推進 【分野別計画】 飯田市教育振興基本計画
2	・コロナ禍において、「みる、演じる、ささえる」の観点からもワッペン(参加証)の意義を定期的に発信していく必要がある。	・いいだ人形劇フェスタ実行委員会では、フェスタ期間外においてもワッペン利用による付加価値が得られる仕組みの充実に向けた検討を始めました。今後、ワッペンの意義も含め多くの市民に理解していただけるよう情報発信していきます。	5-①「人形劇のまちづくり」の推進 【分野別計画】 飯田市教育振興基本計画
3	・コロナ禍にあっても出来ることを着実に実施されたい。	・令和4年度は、人形劇フェスタが開催できなかったものの、オーケストラと友に音楽祭2022、コンサートア・ラ・カルト、ここにこステージ、スキマスイッチコンサートといった自主事業、人形劇定期公演などの鑑賞事業を実施しました。また、市民が主体となって企画実施された伊那谷文化芸術祭についても、開催支援を行いました。	5-② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援 【分野別計画】 飯田市教育振興基
4	・“リアル”“本物”に触れることができないウィズコロナでの文化芸術活動のあり方や新しい可能性を検討されたい。	・コロナ禍においても、客席の間隔をとり、消毒や換気を行うなどの感染防止対策をとって舞台芸術活動の継続・推進するとともに、ホンモノ体験の機会をつくりました。	5-② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援 【分野別計画】 飯田市教育振興基
5	・構想・計画の進捗状況を逐一市民に公開し、合意を形成していくことが必要である。	・新文化会館の整備については、市のウェブサイトで開催検討委員会の会議録や市民ワークショップの記録を公開するとともに、定期的にニュースレターを発行して広く周知してきています。多くの市民が注目する事業であるため、引き続き透明性を念頭において事業を進めていきます。	5-③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり 【分野別計画】 飯田市教育振興基本計画
6	・市民の声が、市民検討委員会や市民ワークショップに確実に反映される仕組みや運営が求められる。	・整備検討委員会及び市民ワークショップの設置にあたっては参加者を公募しました。検討状況については議事録の公開やニュースレターの発行等を行い公表してきています。整備基本構想や整備基本計画の策定においては、広く市民の意見を求め、そうした意見も含めた検討を行っていきます。	5-③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり 【分野別計画】 飯田市教育振興基本計画

基本目標5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
7	・コーディネーショントレーニングの効果検証を早急にされたい。	・今年度プログラムを実施した2園で、実施前後で体力測定を行い効果検証をしました。保育士や保護者からは「外で友だちと遊ぶ子どもが増えた」、「自信をもって自分の意見を言えるようになった」など園児の成長や変化が報告されています。 ・さらに園小のつながりでモデル地区を設置しており、長期的に効果を検証できるよう取り組んでいきます。	5-④ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
8	・ウォーキングには健康づくりの観点があり、他部署と連携して実施されたい。	・スポーツ推進委員協議会が中心となって各地区で取り組んでいるウォーキング事業を引き続き推進するとともに、健康福祉部や公民館等と連携して取り組んでいきます。	5-④ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
9	・今までに取り組んできたニュースポーツで囲碁ボール、ワンバウンドフラバールバレー等各地公民館に普及してきている。今後、ウォーキングやポッチャ等の普及と並び運動習慣の定着のためにそれぞれの更なる充実に努められたい。	・運動習慣の定着に向けて、囲碁ボールなど地域に定着してきた種目については、地区公民館と連携して推進していきます。ポッチャは、障がいをお持ちの方や高齢者を含めた多世代が一緒に楽しめる種目として、スポーツ推進委員とともに普及に努めていきます。	5-④ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
10	・「市民のスポーツ機会を増やす」視点で、民間スポーツクラブとの役割の分担、あるいは官民連携を模索されたい。	・行政は、施設整備のほかスポーツ団体の支援、イベントや公民館行事等の開催により、スポーツができる環境整備に努めます。 ・また、スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携して、競技力の向上など市民の多様なニーズに対応していきます。	5-④ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
11	・拡大しようとする競技スポーツ人口の対象が見えない。	・競技スポーツ人口の対象はすべての市民であると捉えています。スポーツをするだけでなく、様々なスポーツとの関わりの中から、競技スポーツへの関心を高めていくことが必要と考えています。	5-⑤ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
12	・基礎世論調査結果等の数値の比較だけでなく、都会と地方の指導環境の比較、体育施設の環境比較など、飯田市の現状分析が必要である。	・基礎世論調査は、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」スポーツ文化の醸成の視点で令和3年度から追加した調査項目です。 ・競技人口の増加を目指すためには、指導者の確保や体育施設の環境整備は欠かせないため、他自治体との比較から飯田市の現状や特徴を踏まえ進めていきます。	5-⑤ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
13	・成果を上げるには、小中学生への取り組みが必要ではないか。5-④、5-⑥に注力すべきではないか。	・競技スポーツ人口の拡大を目指すうえでは、小中学生の取組が重要と考えています。学校部活動で選択できる種目が減少するなか、部活動の地域移行も見据え、生涯にわたってスポーツに親しむ土台となる小中学生が参加できる地域のスポーツ環境の充実に取り組んでいきます。	5-⑤ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】

基本目標5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
14	・競技スポーツは専門性が求められる。行政施策として小戦略に位置付ける必要があるか。	・飯田市スポーツ推進計画では、地元出身選手の活躍は市民に元気と活力を与え、一体感を生み出すことにつながることから、その活躍を市民に周知することで競技スポーツに関心を持つ市民の増加を目指しています。 ・行政としては、競技団体等と連携して子どもたちが競技レベルの高いプレーに触れる機会の提供などにも取り組んでいきます。	5-⑤ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
15	・全市型競技別スポーツスクールは中学生期の総合的な取組みとして利用しやすさの充実を図られたい。送迎や参加費の負担があるとの声がある。また今後、部活動の地域移行を見据えたあり方の検討が必要になる。	・全市型競技別スポーツスクールは、部活動の地域移行を進めるうえでは、地域におけるスポーツ活動の選択肢の一つと考えています。送迎や参加費といった課題については、今後、地域のスポーツ環境の充実に向けて学校や地域、関係団体と協議していく中で一体的に検討していきます。	5-⑥ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
16	・KPIの目標指標が種目数であり、本来目的としている部活動時間の短縮の方向性が見えない。	・部活動の活動時間は、国のガイドライン等を踏まえ「飯田市中学校部活動の活動指針」に休養日の設定や活動時間を定めています。放課後部活動を行わない「冬季ジブン・チャレンジ期間」を設けたことで、現在、年間410～430時間程度と適正な活動時間となっています。	5-⑥ 飯田市スポーツ推進計画【第2次改定版】
17	・施設改善に対する各競技団体や地域からの要望について、進捗状況を示していく必要がある。	・施設改善に対する要望については、競技団体が参加する会議等で対応状況を説明しています。また、改修工事では一定期間利用の制限をお願いするものもあるため、予約システム等で周知し協力をお願いしています。	5-⑦ 飯田市スポーツ推進計画【第3次改定版】 教育委員会施設等総合管理計画
18	・計画的な改修を進めるとともに、財源確保について様々な方策を研究していく必要がある。	・体育施設の整備については、飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき計画的に進めます。整備にあたっては、整備内容にあわせて活用可能な交付金や起債等を検討していきます。	5-⑦ 飯田市スポーツ推進計画【第3次改定版】 教育委員会施設等総合管理計画
19	・川路多目的広場Aコート芝生植栽が具体化した中で、芝生化の整備費や維持管理費の検証を行う必要がある。	・川路多目的広場の芝生を管理しているサッカー協会や、南信州管内で芝生グラウンドを有している町村等へ、維持管理について聞き取りをしています。利用目的や芝生の管理レベルにあわせた維持管理費の把握に努めていきます。	5-⑦ 飯田市スポーツ推進計画【第3次改定版】 教育委員会施設等総合管理計画

基本目標7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
1	・コロナ罹患後の後遺症については情報提供が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の後遺症(代表的な症状、症状が長引く場合の対応など)については、飯田市ホームページに掲載し情報提供を行っています。また、長野県・厚生労働省のホームページに掲載されている後遺症の情報についても、飯田市ホームページからリンクで見ることができるようになっています。 ・なお、後遺症に関する相談窓口は県が設けており、後遺症を含む相談件数は県で年間500件弱ありました。この相談窓口についても飯田市ホームページで紹介しています。また、公民館や自治振興センターに後遺症や相談窓口に関するポスターを掲示し、周知します。 	7-① 新型コロナウイルス感染症対策の推進”
2	・3年間行った消防団健康教室のデータ、アンケートを分析し、その結果を現役世代の健康啓発につなげられたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団健康教室3年目の今年度は、7個分団142人に実施しました。12月で教室が終了し、現在重症化予防対象者への継続保健指導の実施と3年間のまとめを作成を行っています。 ・今年度は事業主健診検査機関と健診結果について情報交換を行い、消防団員に限らず青壮年期の健康課題は「肥満」であることが明らかになっています。今後、3年間の消防団健康教室の結果を分析し、消防団健康教室や企業出前健康講座、地区での健康教室等でこの内容を活用してまいります。 	7-② 働き盛り世代からの健康づくり
3	・ポイント制度は、効果の判断が明確にわかる指標の設定など、総合的なスキームを構築した上で取り組むこととされたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康ポイント事業は、高齢者の通いの場など社会参加の促進とフレイル予防の意識醸成を目的として、計画しています。参加者の健康状態等について、実施可能な教室を選択し、例えば「イレブンチェック」、「指輪っかテスト」、アンケートなどの実施を検討します。また、フレイル予防の意識醸成の広がりについては、「通いの場」への参加者数の推移に注目します。 ・本事業は3年を目途に区切りとし、将来的にデジタルポイントの活用などによる若い世代を対象とした健康ポイントの付与の仕組みづくりを研究し、移行していく方向で取組を進めていきます。 	7-④ 介護予防(重度化防止)の推進と介護人材の確保 【分野別計画】 高齢者福祉計画・介護保険事業計画
4	・口腔衛生と口臭とは相関があることから「お口の臭い」というようなフレーズで現役世代が関心を持ち、健康づくりの習慣化に結び付けるような試みを検討されたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・口臭の原因は、口腔の衛生状態のみではなく、口渇や体調、内臓、精神疾患、ストレス等でも起こる場合があります。口臭は社会生活を送る中でご本人が気にしていることも多いため、広く周知する方法は慎重に行い、不十分な口腔ケアが原因の場合は、口臭との関係を伝える中で口腔衛生の習慣化へ結びつけています。 ・12か月児の保護者、特定保健指導、各種保健事業の個別相談等を実施する中で「口臭」をきっかけに個別の口腔衛生について相談を行います。 	7-② 働き盛り世代からの健康づくり

基本目標7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
5	<p>・“フレイル”の概念が市民に浸透していない。高齢者にも意味が伝わる工夫を行い、早急に理解を広げられたい。</p>	<p>・「リハビリ」という言葉が当たり前に使われるようになるまでに、長い期間がかかったと言われるように、特にカタカナの新しい言葉が高齢者をはじめ市民に浸透するには、ある程度の時間を要するものと考えられます。</p> <p>・自らのフレイルに早く気づき、必要な対策を生活に取り入れることが、要介護状態になることをできるだけ防ぐことにつながります。</p> <p>・市は引き続き、後期高齢者健診結果報告会、フレイル予防教室、地区の健康教室で、フレイルの概念や予防について取り上げてまいります。</p> <p>・2月から3月期には、いきいき教室(市内90会場)において保健師によるフレイルの説明会を行います。</p> <p>・また、「フレイル」の概念や予防の大切さを理解し、取り組みを進めていただくために、「広報いいだ」ほか、様々な媒体で継続的に広報するよう努めます。</p>	7-③保健事業と介護予防の一体的実施
6	<p>・KDBシステムによる分析結果から高血圧予防の重要性が導き出された。このことを広く周知し、疾患の重症化予防につながる事業展開が必要である。</p>	<p>・今年度の健康福祉委員の学習会のテーマを「高血圧」とし、各地区で高血圧教室を開催したり、既存グループへ出向いて学ぶ機会を設け、高血圧予防の理解を深めています。</p> <p>・次年度は、KDBシステムの活用により各地区の健康課題を見える化して、健康教室などで地域の皆さまと共有し、意識啓発を図ります。</p>	
7	<p>・「通いの場」について、持続性をもって進めていく必要がある。</p>	<p>・今年度のモデル地区で「通いの場」を再構築するなかで、地域には多様な皆さんが集う様々な内容の「通いの場」があることがわかりました。高齢者の社会参加が促進されるためには、参加を希望する皆さんに情報が届くことが必要であり、関係者間の情報共有や連携が求められます。</p> <p>・体制整備の推進役である「生活支援コーディネーター」が、行政や飯田市社協などの関係機関、地域住民と連携、情報共有し、必要に応じて課題検討を行いながら、「通いの場」が活性化する取組を継続します。</p> <p>・保健課、自治振興センター、公民館、福祉課、長寿支援課、社協地域福祉課、地域包括支援センターなどが地域住民と協働して、課題の検討を行いながら高齢者の社会参加が促進されるよう取組を継続します。</p> <p>・今後は、モデル地区における取組を参考として、新たに別の地区でも「通いの場」の再構築を進める予定です。</p>	7-④ 介護予防(重度化防止)の推進と介護人材の確保 【分野別計画】 高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本目標8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
1	・9人の地域福祉コーディネーターを軸とした活動がさらに充実するよう取り組まれない。	・地域福祉コーディネーターの活動を充実させるために、活動の指標を設定しています。また、毎月のコーディネーター会議に福祉課職員も参加しており、引き続き活動状況を確認しながら取組の充実を図っていきます。	8-①地域福祉活動の推進 【分野別計画】 地域福祉計画・地域福祉活動計画
2	・近所や隣同士で助け合いができる関係づくりが推進されるよう、検討されたい。	・近所や隣同士での助け合いができる関係づくりのための課題や方法について検討しつつ、地域福祉コーディネーター活動を主軸として、地域共生社会の構築を推進します。	8-①地域福祉活動の推進 【分野別計画】 地域福祉計画・地域福祉活動計画
3	・有事の際に住民支え合いマップが活用できる状態にしておくことが求められる。	・地域における有事の際に十分活用していただけるよう、住民支え合いマップの仕組みや機能について周知を図っていきます。	8-①地域福祉活動の推進 【分野別計画】 地域福祉計画・地域福祉活動計画
4	・民生児童委員の負担軽減に向け、引き続き検討に努められたい。	・民生児童委員の負担軽減や業務効率化を図るよう、国等への意見提出等の活動を継続するほか、市ができる改善に不断に取り組んでまいります。	8-①地域福祉活動の推進 【分野別計画】 地域福祉計画・地域福祉活動計画
5	・重層的支援体制の周知が足りていない。	・本年度は市内職員向け研修会及び関係機関支援者向け研修会を実施しました。2つの研修で100名を超える受講者があり、重層的支援体制整備事業の概要、考え方を共有することができました。今後も制度の理解、活用を推進するための研修会を継続的に実施するなど、周知を図っていきます。	8-②複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築
6	・体制整備で終わることなく、相談者にどこまで伴走することができるのか今後の課題である。	・重層的支援体制整備事業に取り組むと同時に、福祉課に係を新設し、断らない相談窓口として「福祉まるごと相談」を設置しました。既存の相談機関では対応が難しいケースに対し、家庭訪問、同行支援、電話での状況確認や見守りを行い、相談者の思いを受け止め、課題解決型だけではなく対応を行っています。	8-②複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築
7	・利用者の反応を把握するとともに、真に支援を必要とする人へ情報が行き届くよう努められたい。	・「福祉まるごと相談」のパンフレットを作成し各相談機関の窓口に配布したほか、市独自の生活応援給付金事業の対象者11,000世帯(住民税非課税世帯及び住民税均等割りのみの世帯)に対し、申請書等の案内発送の際パンフレットを同封し、相談窓口の周知を行いました。これにより新規相談が増え、さまざまな困りごとや相談者の不安に対応しています。	8-②複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築
8	・障がい者の就労は大事な視点であり、把握している情報は説明資料に記載されたい。	・令和5年度の小戦略及び戦略的事業の障がい者の社会参加の推進において、障がい者の就労を含めた取組状況を記載します。	8-③障がい者の社会参加の推進 【分野別計画】 障害者施策に関する長期行動計画・障がい福祉計画

基本目標11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
1	<p>・家庭でのごみの分別は進んでいるが、ごみの減量(フードロス等)の取り組みは弱いので、地域ぐるみのごみの減量に取り組まれない。</p>	<p>・飯田市では、次のような取組が行われてきています。 ア 飯田市による、飲食店等における料理の食べきり運動(いいだし食べきり15・15運動)の周知啓発 イ 飯田市による食品ロス削減やエシカル消費をテーマにした出前講座、イベント等における啓発活動 ウ 公立保育園における、調理の野菜くずを堆肥化し、園内の菜園で使用する取組 エ 小中学校の児童会又は生徒会による食品残さの調査及び給食の食べきりの取組 オ 飯田消費者の会又は飯伊の女性団体による食品ロス削減の学習会等 カ NPO法人等によるフードドライブの取組 ・上記の取組などを引き続き行い、又は行われるよう努めていくほか、環境担当部署では、ごみ分別アプリ使うなどして意識啓発、周知等に取組んでいきます。</p>	<p>11-① 環境問題を知り、学び、実践に移す 11-④ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進 【分野別計画】 21'いいだ環境プラン第5次改訂版 第4次飯田市食育推進計画</p>
2	<p>・エネルギー消費は事業所のほうが圧倒的に多い。関連団体として商工会議所などと連携するなどして進められたい。</p>	<p>・事業所向け省エネセミナーの開催時には、飯田商工会議所をはじめとした関連団体を通じて地域の事業所へ参加を呼びかけています。また、SDGsやEMSの取組を通じた事業所のエネルギーに関する取組を推進するため、南信州地域振興局、飯田信用金庫、地域ぐるみ環境ISO研究会などとの連携により取組を進めています。 ・飯田商工会議所とは、「2050年いいだゼロカーボンシティ宣言」を共同で行っており、事業所のゼロカーボンに向けた取組の推進にあたっては、関連団体と連携した取組が必要であることから、今後も、連携の強化を図りながら事業を進めます。</p>	<p>11-② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換 【分野別計画】 21'いいだ環境プラン第5次改訂版 飯田市地球温暖化対策実行計画</p>
3	<p>・家庭からの省エネは地域ぐるみの取り組みとなるよう支援されたい。</p>	<p>・引き続き、環境一斉行動週間などの取組を通じて、事業所の取組から社員等の各家庭における取組に広がっています。今年度は、あらたに飯田市PTA連合会と連携した啓発事業を実施し、SDGsを通じた家庭省エネの推進を図りました。 ・市内各地区にて環境懇談会を開催していますが、この場で、地区の環境委員さん方等にパンフレットを配布して啓発を行っています。 ・今後も、事業所やPTA、各地区まちづくり委員会と連携して、家庭省エネの取組の裾野が広がるような事業を展開することで、地域全体での推進を図ります。</p>	<p>11-② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換 【分野別計画】 21'いいだ環境プラン第5次改訂版 飯田市地球温暖化対策実行計画</p>

基本目標11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
4	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市版ZEH住宅の推進にあたっては、メリット、デメリットも明らかにして市民に周知されるよう取り組まれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 飯田版ZEH仕様とそのメリットを詳しく記載した情報と、補助制度の情報を公式ウェブサイトに掲載しているほか、りんご並木のエコハウスにおいては実物の体験をしていただき、市民への周知を図っています。 また、パンフレットを、市役所窓口へ設置するだけでなく、市内工務店、設計事務所等へ個別に配布するとともに、講習会でも仕様等の説明を行い、供給サイドからも普及が促進されるよう働きかけを行いました。 こうした場で、イニシャルコストが高くなることで、建設を躊躇するデメリットがありますが、本年度から開始した補助制度や、建設によるランニングコスト低減効果、夏涼しく冬温かいことによる快適な生活が送れることや、寒暖差が少なくなることによる健康面での効果などの付加価値を丁寧に説明しています。 	11-② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換 【分野別計画】 21'いいだ環境プラン 第5次改訂版 飯田市地球温暖化対策実行計画 飯田市住生活基本計画
5	<ul style="list-style-type: none"> 小沢川水力発電については、費用対効果などを検証しつつ適切な進捗管理を実施されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 近時の経済情勢を受けて資材費及び建設経費が高騰しています。地域住民による運営会社が不測の負担を蒙る事態を回避しなければならないため、ご指摘の通り、状況変化を確実に把握し、費用対効果を重要視しながら進捗管理を行っていきます。 	【分野別計画】 21'いいだ環境プラン 第5次改訂版 飯田市地球温暖化対策実行計画
6	<ul style="list-style-type: none"> ペレットストーブについては、コストや発熱量の面で課題が多い。今後も十分な検証を行ったうえで、事業を進められたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 当地域に豊富に賦存する木質バイオマスエネルギーを十分に使い、地域の省エネと脱炭素を進めるため、薪ストーブ・ボイラー、竹ストーブ・ボイラーとあわせて、ペレットストーブ・ボイラーの市民への普及を促進します。 この際には、近時の物価・エネルギー価格の高騰対策の意図を踏まえつつも、機器設置に適した条件について告知していきます。 燃料として利用可能な地域産木材を地域で利用していく流通システムの構築について、関係部署に働きかけをしていきます。 ペレットストーブを設置している小中学校等の施設については、教室現場の声を聴きし、使用状況、室温等の調査、検証を行います。ペレットストーブの能力を最大限発揮する正しい使用方法、管理方法については、毎年周知を図っているところですが、確実に理解されるようさらに丁寧な情報提供に努め、環境学習の教材としても活用していきます。 	11-③ 地域産再生可能エネルギーの創出と活用 【分野別計画】 21'いいだ環境プラン 第5次改訂版 飯田市地球温暖化対策実行計画
7	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮するモデルエリアを構築するのであれば、ZEH住宅のみならず、周辺エリアの環境に配慮した緑地帯や公園整備などにも取り組まれた 	<ul style="list-style-type: none"> 丹保北条地区代替地整備に伴い、整備区域内に1,607㎡の緑地・広場を確保し、緑化・管理を行っています。 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ジオパークに関しては市民に対しての周知が足りていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプスジオパークの飯田市におけるエリアは、遠山郷に限定されること、南アルプスの山々が、登山するにはハイレベルであることなどから、ジオパークの認知度はこれまで低かったと思われまます。 しかし、アクセスも改善され、人々の大地や地形地質への関心も高まってきている状況から、認知度を向上させるチャンスと捉えています。 南アルプスジオパーク協議会の構成市村と協力しながら取り組んでいきます。 令和5年度予算では、周知のためのチラシの全戸配布を予定し、一層の認知度向上を図っていきます。 	11-① 環境問題を知り、学び、実践に移す 【分野別計画】 21'いいだ環境プラン 第5次改訂版

基本目標11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
9	<p>・ジオパークへの取り組みは環境の視点だけでなく、地域づくり・教育面・地域振興(観光面、他)につながる全庁的な取り組みの推進を図られたい。</p>	<p>・ジオパークについては、環境課だけでなく、商業観光課、教育委員会事務局、まちづくり委員会等と連携しながら取り組んでいます。毎年2回連携会議を行い、他部署の事例や方針を確認し、それぞれの分野でジオパーク関連事業の推進をしています。</p> <p>・今後は、市役所庁舎でジオパーク展を開くなどして、職員全員にジオパークを認知させ、さらに全庁的な取組を進めていきます。</p> <p>・南アルプスジオパーク協議会でも観光部会及び教育部会での事業推進が検討されていくため、関係各部署による協力体制を整えていきます。</p>	<p>11-① 環境問題を知り、学び、実践に移す 【分野別計画】 21'いいだ環境プラン 第5次改訂版</p>

基本目標12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
1	・要支援者名簿の作成を進めているが使いにくさに課題がある(個人情報の扱い)ので、名簿を有効に活用するために利用目的の条件などを定めた条例化等も検討されたい。	・避難行動要支援者名簿の活用については、福祉部局と連携を図りながら常時から情報共有を進めていく仕組みを検討しています。令和5年度には次の段階として、アプリの活用などより具体的な取組を行っていきます。	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 【分野別計画】 飯田市地域防災計画
2	・デジタル防災無線が聞こえにくいとの声がある。整備後の検証を進められたい。	・令和4年度で市内全域の整備が終了しますので、今後は市民からの声も参考にしながら検証を進めていきます。	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 【分野別計画】 飯田市地域防災計画
3	・ハザードマップの更新などに合わせ、多様な情報入手方法の周知を図られたい。	・防災行政無線のデジタル化に伴い、様々な媒体での情報伝達手段を構築し、令和3年11月から運用を開始しています。市民に向けて広報いいだや市公式ウェブサイトなどを活用して周知を図っています。今後も利便性と迅速性がより確保されるよう努めます。	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 【分野別計画】 飯田市地域防災計画
4	・飯田市災害対策本部の充実にあわせ、各地区自主防災会の育成も進められたい。	・市災害対策本部については、その場所を含めた資機材の充実や関わる職員のスキルアップのため年間を通じて訓練を実施しています。また、本部機能と庁内の各災害対策班との連携をより充実させるために、常時からマニュアルの作成・見直しや民間との連携強化に取り組んでいます。 ・各地区の自主防災組織の育成については、地区の防災資機材の充実を図る目的の補助事業を継続的に行っており、市職員も入り資機材の使用法の講習会や防災意識の向上を図るための学習会を数多く行っています。また、市からの有益な情報提供や自主防災リーダーを対象とした研修会を開催するなどの取組を行っています。今後も引き続き自主防災組織の育成を進めます。	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 【分野別計画】 飯田市地域防災計画
5	・避難所開設訓練においては、さらに詳細な視点(女性のプライバシー、高齢者への対応)できめ細やかな訓練を計画されたい。	・平成28年度に飯田市独自の避難所開設・運営マニュアルを作成し、避難所運営の要となる各地区自主防災組織へ提示しました。その中には、避難所運営における女性の視点や高齢者の視点も含め、開設・運営のポイントについて説明しています。それを踏まえ、毎年各地区の自主防災組織で避難所開設訓練も実施していただいています。また、令和2年度には感染症対策も含めたマニュアルに改訂し、各自主防災組織が一同に介した訓練も行いました。 ・なお、小中学校を中心に避難所開設体験も数多く行っています。今後も引き続き女性の視点や高齢者の視点を取り入れた避難所開設訓練を行っていきます。	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 【分野別計画】 飯田市地域防災計画

基本目標12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る

No.	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言	提言への対応状況の説明	
		(各基本目標の評価内容を踏まえ、考え方や展開方針・特筆すべき事項について記載)	(関連する主な戦略計画及び分野別計画等を記載)
6	<p>・実践的な防災訓練として他自治体で取り組まれている、安否確認のための「黄色いハンカチ作戦」など、好事例等の紹介も検討されたい。</p>	<p>・黄色いハンカチ作戦に限らず、当市で取り組みやすい全国の好事例について、自主防災リーダー養成研修会で紹介できるよう検討していきます。また、市内での好事例も研修会等で紹介できるよう努力していきます。</p>	<p>12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 【分野別計画】 飯田市地域防災計画</p>
7	<p>・消防団員の確保は消防団だけの課題ではなく、市全体の課題として行政も共に取り組むこと。 (行政としての取り組み方、女性団員確保、地域支援の在り方、家庭への直接支援、児童生徒へのPR 活動など)</p>	<p>・団員確保を困難にしている原因の一つとして、何十年も前から多くの住民に刷り込まれた消防団に対する悪しきイメージがあると認識しています。このため、戸別訪問では対象者の親世代からの門前払いが全ての分団で確認されています。このため、行政としても消防団のイメージ改善に努めることを最優先に消防団とともに尽力していきます。あわせて、活動実績の無い団員を増やさないことにも注力していきます。</p>	<p>12-③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上 「飯田市第12次消防力(消防団)整備計画」</p>
8	<p>・高齢者への交通安全対策は、事例にある交通少年団の取組のほか、関係機関と協力し具体的な取り組みを進められたい。</p>	<p>・県や警察等の関係機関との情報共有を密にし、高齢者事故が多発する地区や路線での見せる街頭啓発活動を積極的に行うほか、県主催の高齢者ヘルメット着用モニター事業に積極的に参加し、自転車事故発生時の被害低減を目指します。また、地区で企画する高齢者運転研修等への補助活動を引き続き行います。</p>	<p>基本目標12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る</p>
9	<p>・通学路の危険箇所はまだ多く残っている。飯田市通学路安全対策アクションプログラムのもと、地域の実情を見て整備を進められたい。</p>	<p>・通学路の危険箇所については、飯田市通学路安全対策アクションプログラムに基づき、引き続き計画的に安全対策を進めてまいります。</p>	<p>基本目標12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る</p>
10	<p>・準用河川のみならず排水路、普通河川などの調査を進め、優先順位については地域の実情に配慮し、整備計画を立てられたい。</p>	<p>・準用河川の危険箇所調査を令和4年度で完了させ、令和5年度は地域の実情に配慮して整備計画を策定し、併せて河川台帳の整備を進めます。今後は準用河川の整備計画に基づく補修工事を優先的に進めてまいります。</p>	<p>12-⑤ 災害時の都市機能維持、社会基盤の戦略的強靱化</p>